

教職実践専攻

学校マネジメントコース

区分	領域	授業科目名	必修	選択	指定
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発	2		
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成 ※			
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展	2		
		ICTを活用した教育の実践と課題		2	
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践	2		
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進 ※			
	学級経営、学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題	2		
		学校危機管理の現状と課題	2		
	学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題	2		
		教育実践力の向上と秋田型協同研究システム	2		
スクールリーダーの役割と課題		2			
コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践		2	
		学社連携・融合の理論と実践		2	
		学校組織文化の形成と機能		2	
		学校情報の管理と運営		2	
		地域教育行財政の理論と実践	2		
		学校経営をめぐる法と判例	2		
		学校経営戦略の分析と策定 ◆			2
		教員のサービス管理と人事考課 ◆			2
	カリキュラム・授業開発	ふるさと秋田のキャリア教育 ◇			2
		小学校英語の理論と実践		2	
		生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		2	
		国際理解教育の教材とカリキュラムの開発		2	
		情報教育の教材とカリキュラムの開発		2	
		環境教育の教材とカリキュラムの開発		2	
		ふるさと秋田における地域課題教育		2	
		道徳教育の理論と実践		2	
		特別活動の理論と実践		2	
		秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価 ◇			2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅰ		2	
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅱ		2	
	教科教育実践の理論と展開		2		
	発達教育・特別支援教育	障害児支援におけるチームアプローチ ★ ※			2
		発達障害の事例分析と対応策の検討・評価 ※		2	
		コミュニケーション発達の理解と支援 ※		2	
		障害児のキャリア発達と支援 ※		2	
		特別支援教育の教育課程の実施と評価 ※		2	
		知的障害児の理解と支援 ※		2	
		肢体不自由児の理解と支援 ※		2	
		病弱児の理解と支援 ※		2	

	現代教育思想と学びの諸相		2	
	子ども理解の理論と実践 ★			2
	子どもの発達と教育		2	
	子どもの教育と保育		2	
	学校カウンセリングの理論と実践		2	
	教育活動と心理学		2	
	授業実践と学習心理学		2	
	児童生徒の認知と発達 I		2	
	児童生徒の認知と発達 II		2	
教職実践コース 横断型研究科目	課題実地研究 I		2	
	課題実地研究 II		2	
	秋田連携研究 I		2	
	秋田連携研究 II		2	
	支援機構研究 I		2	
	支援機構研究 II		2	
	支援機構研究 III		2	
	支援機構研究 IV		2	
	実践指導研究 I		2	
	実践指導研究 II		2	
実践省察科目	教職実践リフレクション I	2		
	教職実践リフレクション II		2	
実践実習科目	教職経営プロジェクト I a		4	
	教職経営プロジェクト I b ※		4	
	教職経営プロジェクト II		6	

- ※を付した科目は特別支援学校教諭専修免許状取得のための科目である。
- 指定科目は◆, ◇, ★の同じ組み合わせで、2科目4単位を修得すること。

教職実践専攻

カリキュラム・授業開発コース

区分	領域	授業科目名	必修	選択
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発		2
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成 ※		2
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展		2
		ICTを活用した教育の実践と課題		2
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践		2
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進 △ ※		2
	学級経営、学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題		2
		学校危機管理の現状と課題 △		2
	学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題		2
		教育実践力の向上と秋田型協同研究システム		2
		スクールリーダーの役割と課題 ●		2
	コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践	
学社連携・融合の理論と実践				2
学校組織文化の形成と機能				2
学校情報の管理と運営				2
カリキュラム・授業開発		ふるさと秋田のキャリア教育		2
		小学校英語の理論と実践 ■		2
		生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		2
		国際理解教育の教材とカリキュラムの開発		2
		情報教育の教材とカリキュラムの開発		2
		環境教育の教材とカリキュラムの開発		2
		ふるさと秋田における地域課題教育		2
		道徳教育の理論と実践		2
		特別活動の理論と実践		2
		秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅰ		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅱ		2
		教科教育実践の理論と展開		2
発達教育・特別支援教育		障害児支援におけるチームアプローチ ※		2
		発達障害の事例分析と対応策の検討・評価 ※		2
		コミュニケーション発達の理解と支援 ※		2
		障害児のキャリア発達と支援 ※		2
		特別支援教育の教育課程の実施と評価 ※		2
		知的障害児の理解と支援 ※		2
		肢体不自由児の理解と支援 ※		2
		病弱児の理解と支援 ※		2
		現代教育思想と学びの諸相		2
		子ども理解の理論と実践		2
子どもの発達と教育		2		
子どもの教育と保育		2		
学校カウンセリングの理論と実践		2		

		教育活動と心理学		2
		授業実践と学習心理学		2
		児童生徒の認知と発達 I		2
		児童生徒の認知と発達 II		2
教職実践コース 横断型研究科目		課題実地研究 I		2
		課題実地研究 II		2
		秋田連携研究 I		2
		秋田連携研究 II		2
		支援機構研究 I		2
		支援機構研究 II		2
		支援機構研究 III		2
		支援機構研究 IV		2
		実践指導研究 I		2
		実践指導研究 II		2
実践省察科目		教職実践リフレクション I		2
		教職実践リフレクション II		2
実践実習科目		教職実践プロジェクト I a	●	4
		教職実践プロジェクト I b	● ※	4
		教職実践プロジェクト II a	●	6
		教職実践プロジェクト II b	● ※	6
		教職実践インターンシップ I a	○	4
		教職実践インターンシップ I b	○ ※	4
		教職実践インターンシップ II a	○	6
		教職実践インターンシップ II b	○ ※	6

- ※を付した科目は特別支援学校教諭専修免許状取得のための科目である。
- 小学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は■を付した科目を受講すること。
- は現職教員学生が対象の科目、○は学部卒学生が対象の科目である。
- △を付した科目は、学部卒学生は2年次で受講すること。

教職実践専攻

発達教育・特別支援教育コース

区分	領域	授業科目名	必修	選択
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発		2
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成 ※		2
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展		2
		ICTを活用した教育の実践と課題		2
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践		2
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進 △ ※		2
	学級経営、学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題		2
		学校危機管理の現状と課題 △		2
	学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題		2
		教育実践力の向上と秋田型協同研究システム		2
		スクールリーダーの役割と課題 ●		2
	コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践	
学社連携・融合の理論と実践				2
学校組織文化の形成と機能				2
学校情報の管理と運営				2
カリキュラム・授業開発		ふるさと秋田のキャリア教育		2
		小学校英語の理論と実践 ■		2
		生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		2
		国際理解教育の教材とカリキュラムの開発		2
		情報教育の教材とカリキュラムの開発		2
		環境教育の教材とカリキュラムの開発		2
		ふるさと秋田における地域課題教育		2
		道徳教育の理論と実践		2
		特別活動の理論と実践		2
		秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅰ		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅱ		2
		教科教育実践の理論と展開		2
発達教育・特別支援教育		障害児支援におけるチームアプローチ ※	2	
		発達障害の事例分析と対応策の検討・評価 ※	2	
		コミュニケーション発達の理解と支援 ※	2	
		障害児のキャリア発達と支援 ※	2	
		特別支援教育の教育課程の実施と評価 ※	2	
		知的障害児の理解と支援 ※	2	
		肢体不自由児の理解と支援 ※	2	
		病弱児の理解と支援 ※	2	
		現代教育思想と学びの諸相		2
		子ども理解の理論と実践	2	
		子どもの発達と教育		2
		子どもの教育と保育		2
		学校カウンセリングの理論と実践		2

	教育活動と心理学		2
	授業実践と学習心理学		2
	児童生徒の認知と発達Ⅰ		2
	児童生徒の認知と発達Ⅱ		2
教職実践コース 横断型研究科目	課題実地研究Ⅰ		2
	課題実地研究Ⅱ		2
	秋田連携研究Ⅰ		2
	秋田連携研究Ⅱ		2
	支援機構研究Ⅰ		2
	支援機構研究Ⅱ		2
	支援機構研究Ⅲ		2
	支援機構研究Ⅳ		2
	実践指導研究Ⅰ		2
	実践指導研究Ⅱ		2
実践省察科目	教職実践リフレクションⅠ		2
	教職実践リフレクションⅡ		2
実践実習科目	教職実践プロジェクトⅠa	●	4
	教職実践プロジェクトⅠb	● ※	4
	教職実践プロジェクトⅡa	●	6
	教職実践プロジェクトⅡb	● ※	6
	教職実践インターンシップⅠa	○	4
	教職実践インターンシップⅠb	○ ※	4
	教職実践インターンシップⅡa	○	6
	教職実践インターンシップⅡb	○ ※	6

1. ※を付した科目は特別支援学校教諭専修免許状取得のための科目である。
2. 小学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は■を付した科目を受講すること。
3. ●は現職教員学生が対象の科目, ○は学部卒学生が対象の科目である。
4. △を付した科目は, 学部卒学生は2年次で受講すること。

履修方法（2022年度入学者）

履修方法は、次表のとおりとする。

教育学研究科規程 別表2

心理教育実践専攻 心理教育実践コース

区 分	科目区分	修得単位数	備 考
必 修	共通科目	6 単位	
	臨床心理士・公認心理師 関連科目	1 6 単位	
選 択	学校心理士関連科目	2 単位	
	臨床心理士・公認心理師 関連科目	1 0 単位	A群からE群までの各科目群からそれぞれ2 単位
合 計		3 4 単位	

教職実践専攻 学校マネジメントコース

区 分	科目区分	修得単位数	備 考
必 修	共通科目	1 6 単位	選択必修4 単位を含む
	コース科目	4 単位	所属コースの必修科目2 科目4 単位
	実践省察科目	2 単位	注（1）参照
	実践実習科目	1 0 単位	注（1）参照
選 択	コース科目又は 他コース科目	4 単位	所属コース科目又は他コース科目の 指定科目2 科目4 単位
	共通科目、コース科目、他コース 科目及び教職実践コース横断型 研究科目	1 0 単位	共通科目、所属コース科目、他コース科目 及び教職実践コース横断型研究科目から 5 科目10 単位
合 計		4 6 単位	

カリキュラム・授業開発コース 発達教育・特別支援教育コース

区 分	科目区分	修得単位数	備 考
必 修	共通科目	2 0 単位	
	コース科目	4 単位	所属コースの必修科目2 科目4 単位
	実践省察科目	4 単位	注（2）参照
	実践実習科目	1 0 単位	注（3）参照
選 択	コース科目	4 単位	所属コース科目から2 科目4 単位
	コース科目、他コース科目及び 教職実践コース横断型研究科目	4 単位	所属コース科目、他コース科目及び教職実 践コース横断型研究科目から2 科目4 単位
合 計		4 6 単位	

注（１）学校マネジメントコースの学生のうち、履修年限１年の学生は、「教職経営プロジェクトⅡ」６単位分を以下の措置で代替する。

- ① １年次前期のリフレクションを通じて「教職経営リフレクションレポートⅠ」を作成し、評価の上、２単位分として認定する。
- ② １年次後期のリフレクションのまとめとして、「教職経営リフレクションレポートⅡ」（学校経営アクションプラン）を作成し、評価の上、４単位分として認定する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

履修年限が２年以上となる学生は、２年次に「教職経営プロジェクトⅡ」６単位を必修とし、加えて「教職実践リフレクションⅡ」を履修する。

- ① １年次のリフレクションを通じて「教職経営リフレクションレポートⅠ」を作成する。
- ② ２年次のリフレクションを通じて「教職経営リフレクションレポートⅡ」（学校経営アクションプラン）を作成する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

注（２）カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの学生は、「教職実践リフレクションⅠ」及び「教職実践リフレクションⅡ」の２科目４単位を必修とする。

- ① １年次のリフレクションを通じて「教職実践リフレクションレポートⅠ」を作成する。
- ② ２年次のリフレクションを通じて「教職実践リフレクションレポートⅡ（現職教員は、学校改善アクションプラン）」を作成する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

注（３）カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの現職教員学生は、「教職実践プロジェクトⅠ」及び「教職実践プロジェクトⅡ」の２科目１０単位を必修とする。カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの現職教員学生以外の学生は、「教職実践インターンシップⅠ」及び「教職実践インターンシップⅡ」の２科目１０単位を必修とする。